

教科書: Crown English Expression II New Edition

副教材: INSPIRE 総合英語 INSPIRE English Grammar 40 Units 同 Workbook 英熟語ターゲット 1000

Best Avenue Grow Up! POWERSTAGE 英文法・語法問題 同トレーニングブック 基礎英文解釈の技術 100

学習目標

<本校の英語科の目標>

- 国際的な感覚と教養を持ち、実践的に英語を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能について、偏りのない総合的な英語力を身につける。
- 語彙力・文法力・構文力に基礎をおき、幅広い英文を理解しそれに対しての自分の意見を表現する。

<第5学年の目標>

- 予習→授業→復習のサイクルを完全に定着させ、高校の学習に対応した学習法を確立する。
- 大学入試改革を見据え、インプット・アウトプットの両方を重視し4技能の力をバランスよく身につける。
- 多様な文章に触れ、精読力・速読力を鍛えるとともに、日本語・英語で内容を説明できるようにする。(要約含む)
- リテリング、スピーチ、ディベート等の題材として、STEAM 関連の内容を取り上げる。

学習方法

- 大学入試共通テスト導入等の入試改革を見据え、長文読解(精読・速読)、英作文(和文英訳、自由英作文)、リテリング、スピーチ、ディベート、リスニングなど様々な言語活動を通して、4技能をバランスよく伸ばしていくよう意識する。
- 自分が受けた小テスト・週末課題・定期考査・模試の振り返りこそ最高の問題集であることを自覚する。
- 不明点は辞書と文法参考書(INSPIRE)で何度も確認する。
- 既習の文法や語彙についても、「他人に説明できるまで」適宜復習・反復練習を行う。
- 文法学習を軽視せず、「なぜそうなるのか」、常に根拠を追及し論理的に深く考えながら、体系的に学習する。そうしてインプットしたものを、アウトプットすることも忘れない。

評価の観点・方法

以下の観点に基づいて評価します。

観点①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。 予習・復習を行い積極的な態度で授業に参加しようとしている。				
観点②表現の能力	既習の文法事項を使いまとまった長さの英作文が書ける。 自分の意見を積極的に発言している。				
観点③理解の能力	英語の情報について正確に聞いたり読んだりできる。 読んだ情報をもとにして問題に正確に取り組むことができる。				
観点④言語や文化に対する知識・理解	語句や文に関する知識を身につけることができる。				
評価の方法／観点		①	②	③	④
授業の活動・態度の観察		◎	○		
ワークシート、ノート提出		◎	○	○	○
定期考査・小テスト			◎	◎	◎
スピーチ・リテリング等		◎	◎		

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項
1 学 期	・学習した文法事項を用いて自己表現できる。 ・自分の身の回りのことについて、まとめた英語で紹介できる。 ・音の連結・同化等を意識し、英語らしい音声で音読し、舌と耳を鍛える。 ・間違いを恐れず積極的に英語を使うという姿勢を持つ。	INSPIRE English Grammar 40 Units 第13章 接続詞(Unit 33～35) 第14章 疑問詞 (Unit 36～37) 第15章 時制の一致と話法(Further Study5～6) 第16章 否定(Unit 38～Further Study7) 第17章 強調・倒置・省略・挿入・同格(Unit39) 第18章 名詞表現、無生物主語(Unit40)	
2 学 期	・英語を使って自分の意見を発信することに慣れる。 ・学習した文法事項を用いて自己表現できる。 ・和文英訳の訓練を重ね、自由英作文への基盤を形成する。 ・自分の考えや意見をまとめた英語で提示する。	Best Avenue Grow Up! 1 文の成り立ち 2,3 時制 1,2 4 助動詞 5 受動態 6 動名詞 7,8 不定詞 1,2 9. 分詞 10,11 関係詞 1,2	
3 学 期	・学習した文法や語彙を用いて自己表現できる。 ・「何となく」を脱却し、文法学習や問題演習の際には「なぜそうなるのか」根拠を他者に論理的に説明できる。 ・社会問題などの是非について、自分の意見を英語で簡単にまとめることができる。 ・ディスコースマーカの役割、パラグラフの構成を理解し作文やスピーチに応用できる。	12,13 比較 1,2 14,15 仮定法 1,2 16 否定表現 17 名詞構文・無生物主語・強調・倒置 18 代名詞 19 形容詞・副詞・前置詞 20 接続詞	

学習のアドバイス

- 予習＝わかる・わからないの仕分け 授業で明らかにすべき内容を決める時間 必ず行う。
- 授業＝上記内容を解決し、復習すべき内容を決める時間 必要な情報はメモを取る。
- 復習＝授業内容を用いた反復練習とアウトプットで知識の定着を図る時間 目と手と口を使う。(音読を含む。)
- 「わかる」＝その仕組みや根拠を他者に説明できること 「何となく」「感覚で」等根拠の曖昧な「わかったつもり」を脱却する。
- 定期考査・模擬試験等で間違えた/わからなかった部分は自分専用の最高の問題集である。必ず解き直しをする。
- 音読を大切にする。目だけでなく、手と口も動かせば効果が高い。
- 与えられるのを待つのではなく、自分から行動を起こす。
- 配布物の整理・提出物の管理等が学力向上のための土台であることを知る。
- 質問しあえる雰囲気、教え合える仲間を作る。不明点は放置せず仲間や先生に相談・質問する。